

長岡市都市整備部まちなか活性課まちづくり係 坂田晃秀係長 ヒアリング

調査日 : 平成 16 年 11 月 8 日 (月) 10:00~12:30
班 : 避難マネジメント・経済調査班 (多々納・石川・及川)、面的被害・地域計画班 (榊原)
分類別 : 復旧・復興状況
キーワード別 : 避難所、生活再建、その他

調査結果

- ・ まちなか考房 (長岡市長岡市大手通 2-2-6) にてヒアリング。
- ・ 商工業の影響については、長岡商工会議所の専務理事にヒアリングするとよい。
- ・ 最初の 1 週間は、直接被災した事業所だけでなく、従業員が確保できない事業所も事業活動を行えないといった問題があったと思われる。これは自宅が被災した従業員が避難生活を余儀なくされたり、自宅の片づけなどが要因である。
- ・ 長岡市内の場合家屋被害は少ないが、地盤被害がある。これは国による支援措置がないため、今後大きな問題になると思われる。
- ・ 避難所では特に高齢者の 1 人世帯などが残っており、避難所を閉鎖できないでいる。避難所を閉鎖するかどうかは、町内会、自主防災会長、地区防災センター長の三者で協議して判断することとしているが、市長から強制的に閉鎖することのないようにという指示がある。
- ・ 仮設住宅については県が用意をすることとなっており、市独自の住宅提供措置はない。
- ・ コミュニティは重要であるが、被災した地域は点在しているので、どこか集約して仮設住宅を用意し、そこに移さざるを得ない。
- ・ 仮設住宅に入る住民の意向をどのように吸い上げるかが重要である。
- ・ 長岡市民は、J A 共済や総合生協に入っている一般世帯が多い。
- ・ グリーンヒル長岡ゴルフ倶楽部は閉鎖を決め従業員を解雇している。解雇された被災者は、勤め先もないため貸し付けも受けられず大きな問題になると考えられる。